

地域学校協働活動に取り組んでいます

地域学校協働活動とは、子どもたちの成長を支えるために、保護者や地域にお住まいの方、自治会や町内会などの団体などと学校が連携・協働して行う活動です。市では、幅広い地域の皆さんの協力を得て、地域の方が学校の授業や行事、環境整備などをサポートする「学校支援」や、子どもたちが地域行事へ参加したり地域貢献を行ったりする「地域活動」を行っています。

活動例

学校支援



▲本の読み聞かせ



▲朝の検温



▲校外学習時の交通安全指導

地域活動



▲商店街の七夕飾り

一緒に取り組んでみませんか？

多くの子どもたちが町内会や子ども会の行事に参加できるよう、学校を通じてチラシを配布することができます(営利目的のものを除く)。学校支援や放課後子ども教室のボランティア、地域活動への子どもたちの参加などの相談は、生涯学習課まで問い合わせください。

問 生涯学習課学習支援係 ☎022-362-2556

PICK UP! ここに注目!

意識的にごみの減量に取り組みましょう

～ちょっとした工夫が処理費用とCO₂の削減につながります～

市民一人あたりが一日で出す家庭ごみの量は720g(令和元年度実績)で、県の平均と比べ40gほど多い状況です。ごみの量が増え続けると、焼却量が増加し、処理費用や二酸化炭素排出量の増加につながります。

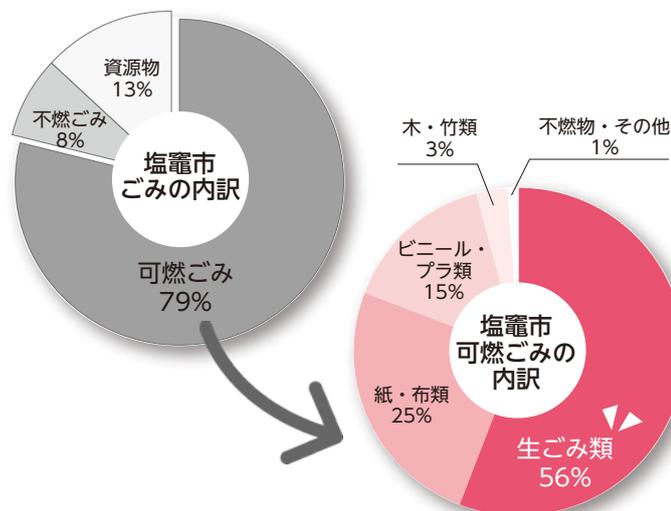
ごみのさらなる減量や適切な分別(リサイクル)に意識的に取り組みましょう。



しおがまりサイクル広場

「生ごみ」が最も多い

市内から出るごみの約8割は「可燃ごみ」です。清掃工場ごみ分析測定によると、可燃ごみのうち約5割が「生ごみ」で、最も多くなっています。



ごみの減量に向けた取り組み

- ①生ごみの減量「生ごみの水切りで減量しましょう!」
三角コーナーや水切りネットを使用する場合は、捨てる前にネットをひと絞りしましょう。また、すぐに捨てるのではなく、一晩置いてから捨てましょう。
- ②適切な分別「雑がみや紙パックは資源物へ!」
可燃ごみのなかには、紙や布類が約25%含まれています。適切な分別を行うことで、資源化につながります。食品やお菓子、ティッシュなどの箱類は、紙袋にまとめて入れるか、ひもでしばって資源物として出しましょう。
- ③ごみのリサイクル「しおがまりサイクル広場」
家庭で不要になった家具などのリサイクル(粗大ごみの減量)を目的に、昨年11月に「しおがまりサイクル広場」を開催しました。今後も定期的に広場を開催していきます。

問 環境課クリーン対策係 ☎022-365-3377